

## 第 93 回 埼玉県内企業経営動向調査－2015 年 10～12 月期－

調査対象：県内企業 568 社                      調査方法：アンケート方式（11 月上旬 郵送回収）  
 回答企業：260 社（回答率 45.8%）          業種別内訳：製造業 150 社      非製造業 110 社  
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2015 年 8 月 14 日	124.41	20,519.45
(今回)2015 年 11 月 6 日	121.70	19,265.60

### 概況

埼玉県内企業の業況感は足踏みしている。今回（2015 年 10～12 月期）の業況判断 BSI は-9 で、前回（7～9 月期）に比べ 2 割の上昇に止まり、前回調査における予測 BSI -1 から下振れする結果となっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）はほぼ横ばい、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）は僅かに持ち直すに止まっている。

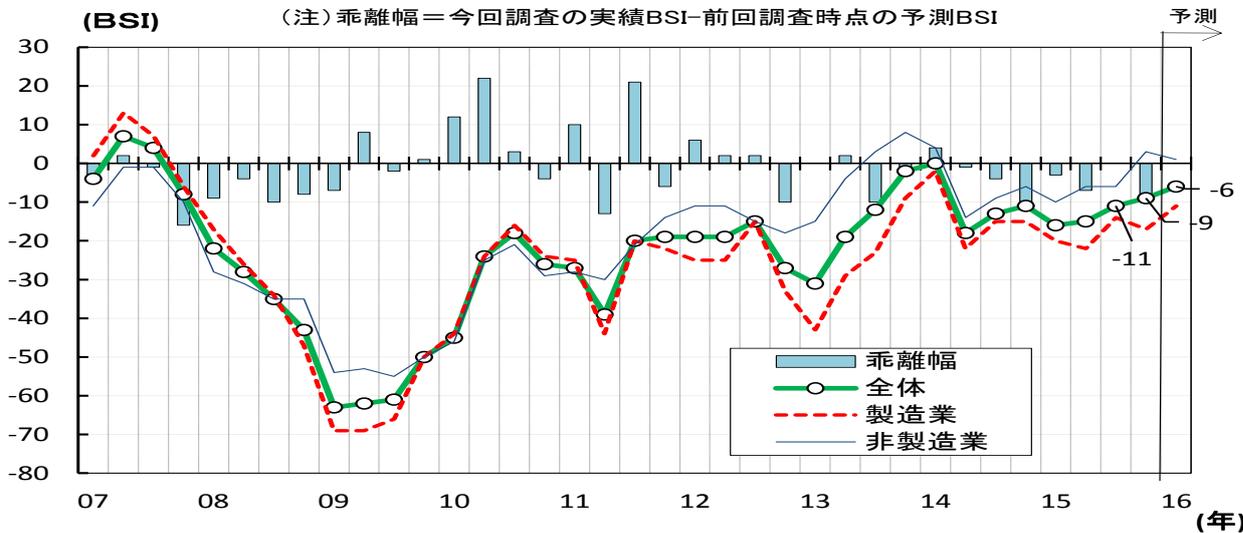
業種別にみると、製造業はやや後退している。素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属が中国経済減速の影響による資源や素材の値下がりに伴う販売価格の下落、金属製品が生産の停滞から後退している。加工組立型業種では、自動車の国内需要が弱い輸送用機械が低調に推移し、半導体関連の受注減少から電子部品・デバイスもマイナスに転じている。一方、非製造業は回復しプラスとなっている。一般建設が底堅い受注などによる収益の確保や、運輸・倉庫が取扱量の増加がうかがわれる。

先行き（2016 年 1～3 月期）の予測業況判断 BSI は-6 とマイナス幅が若干縮小する。個人消費が、所得の改善の遅れから力強さに欠けていること、中国をはじめ新興国経済の減速など先行きの不透明感から持ち直しは緩やかなものに止まる見通しとなっている。業種別にみると、製造業は、輸送機械、精密機械などで受注が上向きプラスに転じ、非製造業では、小売で自動車関連の販売が持ち直すものの、運輸・倉庫などが後退し、全体としてほぼ横ばいの見通しである。

図表 1. 業況 BSI の推移

(BSI)

(注) 乖離幅＝今回調査の実績 BSI－前回調査時点の予測 BSI



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~足踏み~

埼玉県内企業の業況感は足踏みしている。今回(2015年 10~12月期)の業況判断 BSI は-9で、前回(7~9月期)に比べ2ポイントの上昇に止まり、前回調査における予測 BSI -1からも下振れする結果となっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)はほぼ横ばい、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)は僅かに持ち直すに止まっている。

業種別にみると、製造業はやや後退している。素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属が中国経済減速の影響による資源や素材の値下がりに伴う販売価格の下落、金属製品が生産の停滞から後退している。加工組立型業種では、自動車の国内需要が弱い輸送用機械が低調に推移し、半導体関連の受注減少から電子部品・デバイスもマイナスに転じている。一方、非製造業は回復しプラスとなっている。一般建設が底堅い受注などによる収益の確保や、運輸・倉庫が取扱量の増加がうかがわれる。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2014年			2015年				前回予想	2016年 1~3月 (先行き)
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
<b>全体</b>	-18	-13	-11	-16	-15	-11	-9	-1	-6
100人未満	-18	-14	-15	-19	-20	-15	-14	-7	-11
100人以上	-19	-11	-6	-13	-11	-6	-3	5	0
<b>製造業</b>	-22	-15	-15	-20	-22	-14	-17	-1	-11
100人未満	-25	-22	-20	-26	-29	-15	-22	-7	-11
100人以上	-18	-8	-9	-13	-15	-13	-12	6	-10
<b>素材型</b>	-21	-15	-6	-17	-27	-23	-23	-3	-15
紙加工品等	-10	0	-17	-9	-33	-8	-8	-8	-8
化学・プラスチック・ゴム製品	-50	-46	-17	-31	-17	-17	-18	8	9
鉄鋼・非鉄金属	-8	-19	8	-14	-38	-38	-42	-8	-33
金属製品	0	27	10	-17	-31	0	-33	15	-33
その他素材型	-31	-33	-13	-14	-18	-42	-15	-16	-8
<b>加工組立型</b>	-16	-7	-6	-14	-18	-6	-19	6	-8
一般機械器具	13	5	-24	-15	-16	-15	-11	17	-29
電気・情報通信機械器具	-33	-8	-10	-20	-33	-7	-18	-7	-9
電子部品・デバイス	-25	-7	18	-8	-8	29	-25	14	-17
輸送用機械	-31	-14	-36	-46	-31	-36	-50	-9	10
精密機械	-9	-14	23	15	0	0	0	8	17
<b>生活関連型</b>	-42	-35	-45	-33	-22	-12	14	0	-10
飲・食料品	-33	8	-40	-17	-18	21	36	14	18
印刷・同関連業	-50	-77	-50	-50	-25	-50	-10	-17	-40
その他製造業	-17	-33	-80	-50	-14	-14	-50	-43	0
<b>非製造業</b>	-14	-9	-6	-10	-6	-6	3	-2	1
100人未満	-6	-2	-8	-8	-7	-15	-4	-7	-11
100人以上	-20	-17	-4	-11	-5	4	10	4	13
一般建設	16	29	22	16	16	0	30	14	30
住宅建設	-27	-31	-8	-8	-23	-33	-17	-42	-25
卸売	-21	-29	-29	-36	-22	-6	0	-19	0
小売	-38	-12	-19	-26	-21	-19	-4	-5	9
運輸・倉庫	-27	-15	-8	-17	8	8	20	8	-10
不動産	-8	-17	-17	0	9	8	0	15	-8
その他非製造業	13	7	11	0	0	0	-12	6	-12

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業がプラスに転化～

製造業では、紙加工品等などでプラスに転じ、飲・食料品でプラス幅が拡大している。非製造業は、一般建設、卸売、小売などがプラスのほか、運輸・倉庫などでプラス幅が拡大している。先行きは、製造業は、精密機械でプラス幅が拡大するものの、飲・食料品などがマイナスに転じ、非製造業では、一般建設、小売、運輸・倉庫などでプラス幅が縮小する見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 15年4～6月期	(前回調査) 15年7～9月期	(今回調査) 15年10～12月期	(先行き) 16年1～3月期
全体	-13	3	11	2
製造業	-14	-5	4	-3
非製造業	-10	16	20	7
規模の小さい企業	-18	1	4	-3
規模の大きい企業	-8	6	19	7

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～非製造業でプラス～

製造業では、鉄鋼・非鉄金属、電子部品・デバイスなどがマイナスとなっているが、飲・食料品などでプラス幅が拡大している。非製造業では、一般建設、運輸・倉庫でプラス幅が拡大している。先行きは、製造業では、精密機械などがプラスに転じるものの、飲・食料品などがマイナスに転じる。非製造業では一般建設、卸売、小売がプラスの見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 15年4～6月期	(前回調査) 15年7～9月期	(今回調査) 15年10～12月期	(先行き) 16年1～3月期
全体	-15	-3	5	3
製造業	-18	-13	-2	-4
非製造業	-10	11	14	13
規模の小さい企業	-22	-8	-2	-1
規模の大きい企業	-8	1	13	8

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業が僅かながらマイナスに転化～

製造業では、鉄鋼・非鉄金属がマイナスに転じ、電子部品・デバイスでプラス幅が縮小している。先行きは精密機械でプラス幅が拡大する見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 15年4～6月期	(前回調査) 15年7～9月期	(今回調査) 15年10～12月期	(先行き) 16年1～3月期
全体	5	9	-1	1
製造業	7	12	-1	2
非製造業	0	2	-2	0
規模の小さい企業	6	14	0	1
規模の大きい企業	4	5	-3	1

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で僅かに過剰～

製造業では、素材型で不足となっているが、加工組立型や生活関連型で過剰となっている。一方、非製造業では、運輸・倉庫などで不足感がみられる。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 15年4～6月期	(前回調査) 15年7～9月期	(今回調査) 15年10～12月期	(先行き) 16年1～3月期
全体	3	2	0	-1
製造業	5	3	3	1
非製造業	0	-1	-3	-3
規模の小さい企業	4	5	2	2
規模の大きい企業	2	-2	-1	-4

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強い～

製造業では鉄鋼・非鉄金属、精密機械、飲・食料品などで不足感がみられる。非製造業では不動産を除く多くの業種で不足感がみられ、特に、一般建設、運輸・倉庫などで不足感が顕著となっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 15年4～6月期	(前回調査) 15年7～9月期	(今回調査) 15年10～12月期	(先行き) 16年1～3月期
全体	-12	-18	-19	-18
製造業	-1	-2	-2	-1
非製造業	-26	-40	-43	-41
規模の小さい企業	-2	-12	-19	-14
規模の大きい企業	-21	-24	-19	-23

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～若干緩和～

製造業の電気・情報通信機械器具など一部で厳しさがみられるものの、製造業、非製造業ともに苦しさは総じて緩和されている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 15年4～6月期	(前回調査) 15年7～9月期	(今回調査) 15年10～12月期	(先行き) 16年1～3月期
全体	3	4	7	3
製造業	4	3	8	3
非製造業	2	4	7	3
規模の小さい企業	-6	-6	-2	-8
規模の大きい企業	11	13	19	16

(以上)